

東日本大震災から4年を迎えて

東日本大震災が発生してから4年が過ぎました。本市においても大きな被害がありましたが、特に東北地方太平洋沿岸部での被害は人的被害も含め甚大なものであり、今もなお行方不明の方々が多数いらっしゃいます。また、現在も復興に向けて努力が続けられています。本校では、3月11日(水)、地震発生時刻に合わせ、全校生で黙祷を行い犠牲者を悼みました。

さて、地震発生時の対応について、矢板市としては児童の安全を確保するため下記のように対応を統一しましたので、御理解と御協力を改めてお願いします。

【矢板市で観測された震度ごとの学校の下校対応について】

震度	下校対応	お願い
震度5強以上	児童は学校待機とし、保護者の迎えによる下校とする。	保護者の皆様には、電話連絡網などでお知らせしますが、電気や電話等が遮断されたときは、連絡を待たず学校に来てください。
震度5弱以下	同上 ただし、安全が確保された場合、原則、集団での下校とする。	

なお、地震はいつ、どこで起きるかわかりません。登下校中や自宅にいる時など、いろいろ想定して身を守るための方策を家庭内で話し合ってみましょう。

平成27年度教育活動の基本方針

平成26年度の教育活動は、保護者の皆様の御支援によりまして充実したものとなり、多くの分野で大きな成果を収めることができました。平成27年度は下記の方針でさらに強力に推し進め、望ましい態度の育成を図って参ります。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【安全で安心な学校生活】

【ふれあい学習の充実】

— 楽しい学校の実現 —

いじめ・体罰の撲滅を図り、不登校児童を防ぐとともに、校内外での安全指導と安全管理により安全・安心を確保する。

— 基礎学力の伸長 —

授業展開の工夫や朝の活動の有効活用、読書の奨励、そして家庭の協力による学習の習慣化により学力を伸ばす。

— 豊かな心の育成 —

片小ブランドの取り組みや校外学習の充実、地域との連携による人材活用など、体験を通じた心の育成を図る。

【ふり取り学習(復習)の充実】

平成27年度片岡小学校児童の「誇り」と「自覚」の合言葉と実践

(プラス)

片小ブランド【あいさつ・はきもの・なかよし班 + 復習】の確立

あいさつ

自分から進んで元気よくする。
家庭や地域の中でできて合格です。

はきもの

かかとをそろえてきちんと置く。
他の人が使いやすいように並べる。

なかよし班

異学年で協力し合って、楽しく遊び、一生懸命働く。
(ふれあい学習)

復習

宿題だけでなく、自分から進んでくり返し学習をする。
読書の時間を確保する。

卒業おめでとう！セレクト給食

～思い出残る給食となりました～



6年生を対象に、多くの品目の中から自分でカロリー計算をして給食メニューを組み立てるといった楽しいイベント給食を実施しました。子供たちには大好評で見事完食しました。もっとこのような給食にしてほしいとの声が多くありました。

